

令和4年度 第3回 教育行政連絡会

議事次第

- 1 西淀川区役所が実施する学校教育関連事業【令和5年度（案）】
- 2 外国につながる子どもの教育施策
- 3 令和4年度の学校協議会（会長会）について

1 西淀川区役所が実施する学校教育関連事業 【令和5年度】

① 基礎学力の向上事業（次長枠）

学習意欲の向上や自己肯定感の向上、基礎学力の向上をめざし、区内全小中学校で漢字検定・文章検定・英検ジュニア・英検ESG等を実施。

1 小学校：英検ジュニア・英検ESG

英語検定で目標の級に合格するために、学校や家で勉強した。 34%→53%（R5.2.15時点）

【アンケート抜粋】

- ・英検ジュニアを通してまだわからない単語などがあったので、また英語を頑張ろうと思った。
- ・塾で英語を習っていないくても、自分の力でリスニングをしっかりと聞いて答えることができたし、リーディングではイラストを見て答えることができたので、もっとしゃべるときに相手に伝わるような言葉で伝えたい。

2 中学校：漢字検定・文章検定

- ・漢字検定で目標の級に合格するために、学校や家で勉強した。 42%→65%（R5.2.15時点）

【アンケート抜粋】

- ・勉強した結果が発揮でき、いい経験になった。
- ・漢検に向けて過去問をしたり、教材を買って勉強したら、結構解けた。勉強して良かったと思った。
- ・あまりできなくて悔しい。書き取りが特に難しかった。

3 に～よん漢字道場evolution!

- ・スキンケア大学による学習意欲向上動画
- ・に～よん漢字道場evolutionの表彰状授与

学習をすすめることにより自己肯定感を高める取り組み（ブロック予算で実施する漢検・英検も対象）

4 に～よん模試

区内中学校に通う2年生全員を対象に区PTA協議会・四中学校・区役所が、好文学園女子高等学校の協力で3/18（土）に実施

② スクールボランティア支援事業（次長枠）

西淀川区小中学校からの推薦を受け児童生徒の学校生活の支援にあたるボランティアに対し、ボランティア活動に対する謝礼を支払うことにより、学校を人的に支援する。

令和4年度 12校 計378日配置

③ 西淀川区民間事業者を活用した基礎学力支援事業（次長枠）

西淀川区内の**小学5年生・6年生**・中学生を対象に、塾等の事業者が公共施設および**オンラインにて**課外授業を実施することで、基礎学力の定着、学習習慣の形成及び子どもの習熟度に応じた学力向上を図ることを目的として実施する。

3/8に各校にチラシが納品されますので、児童生徒への配付をお願いします。

④ こどもサポートネット事業＋スクールカウンセラー事業

こどもサポートネット事業 支援人数：179人 スクリーニング会議Ⅱ：56回（R5.1月末現在）

⑤ たぶんか高校進学セミナー

参加者 98名（27家族）

参加者のルーツ： フィリピン、ペルー、ネパール、中国、スリランカ、ガーナ

2 外国につながる子どもの教育施策

「一見、日本語を流暢に話している児童生徒でも、日本語の学習に支援を要する場合がある」という認識を学校が持ち、来年度も積極的に本制度を活用をお願いします。



【令和5年度の取り組み】

- 1

中学校卒業後に希望する進路を実現するため、夏休みに区役所で「たぶんか高校進学セミナー」を開催し情報提供および相談会を実施。また、高校受験に向けた学習支援を実施する。
- 2

「にしよど☆グッドスタート」事業による小学校入学前・年長児へのアプローチの強化

2

小学校入学前・年長児へのアプローチの強化について

(目的)

・不就学の防止

・日本語指導の強化

2020年3月時点文部科学省調査によると全国で19,471人のこどもが教育にアクセスしていない可能性がある
初期対応を早いタイミングから実施することで、日本語指導協力者派遣が必要な児童を見極め、
「日本語での勉強が苦手」となることを防止する

区役所	学校	指導部
区内保育園・幼稚園に通っている年長児のうち、家庭内での会話を日本語以外の言語で行っている年長児を把握し、学校に連絡先を提供することについて同意を得る	保護者に学校からアプローチし、指導部による初期対応を要請する	日本語での学習に支援が必要であると判断された場合、入学前にらんまんプレスクールを実施し、入学後すみやかに日本語指導協力者派遣を実施する。
「入学申請書」と「学校選択制の希望調査票」の提出をうながす。		小学校5年生からはJSLカリキュラムを実施し、日本語での学習を支援

3 令和4年度の学校協議会（会長会）について

先日、第2回学校協議会会長との意見交換会を実施しました。

PTAや地域住民の方など、各学校の学校協議会会長より多様な意見をいただきました。
その中からいくつかご紹介いたします。

こどもに貸与しているタブレットの活用状況について

ある学校では、こどもが家で活用している様子が見られず、学級閉鎖等でも活用されている様子が見られない。が、別の学校ではかなり活用されているようだ。活用状況が学校ごとに大きく違うように見受けられるが、なぜそういった差が生まれるのか

学校行事について

コロナを理由として学校行事がかなり制限されている学校と、今まで通りの行事を行っている学校と差異が見受けられる。行事を制限している学校の校長からは教育委員会の通知が理由である、という説明があったが、それが理由ならばなぜそういった違いが生まれるのか

班登校について

コロナを理由として、それまで行っていた班登校から分散登校に切り替わった。学校によってはすでに班登校を復活させている学校もあるようだ。コロナがなくなれば、班登校を復活させることは可能なのか

行事の来賓について

教育委員会から通知が出ていて、卒業式など来賓はお断りすることになっていると聞いた。教育委員会としてそういった方針であれば致し方ない部分は理解できるが、学校協議会を保護者やこどもに認知してもらう大事な機会であり、配慮がほしいと思う。

「学校や学校協議会委員の主な意見」について

『以下の会の中で議論・共有された一部の意見を抜粋』
・令和4年度第1回学校協議会会長との意見交換会・令和4年度第2回学校協議会

【学校協議会とPTAの関わりについて】

- ・学校協議会の話の内容によっては、PTA実行委員会へ伝えた方がよいこともあると思う。（委員）
- ・PTA会長が学校協議会委員をしている学校では、実行委員会に参加し、学校協議会の内容を伝えているところもある。（委員）

【PTAと地域の関わり】

- ・PTAの方から地域の行事に協力できないとの意見があり、地域行事に対する考えも変化したように感じる（委員）
- ・学校選択制ではPTA活動が保護者の学校選択に影響する。楽しく活動できるPTAとし、活動のメリットを伝えていきたい（委員）

【教員の採用・働き方】

- ・教科担任制に注目している（委員）
- ・教員採用試験の倍率低下を危惧している（学校・委員）
- ・働き方改革の実施をしても、結局仕事を持ち帰っている教員がいることは課題。（委員）超勤時間の削減に苦慮している（学校）

【ICT推進】

- ・タブレットに係る各種申請等、ICTに伴う事務処理が負担となっている（学校）
- ・タブレットは教師の指示のもと、持ち帰っているが、こどもが壊した時の修理代などは原則個人持ち。PTAで保険を取り扱うべきか考えている（委員）
- ・種々のコンテンツはあるが、状況に応じた効果的な使い方が必要（学校）

【学校協議会の運営方法】

- ・学校の取組事項やアンケート結果を学校から教えてもらう以外に、地域の意見などを伝えた方がよいのではないかと（委員）
- ・学校の成績を聞く時間も必要と思うので、学校の結果も学校運営への意見を募る時間もあればよい（委員）

【新型コロナウイルス】

- ・新型コロナウイルスにより、学校行事の縮小や学校を知る機会が減少し、悲しい（委員）
- ・こどもの運動能力が低下傾向にある（学校）

【学力・学習環境】

- ・テレビやスマホを使用している時間が長く、家庭学習の時間が短い
- ・国語以外の教科でも文章問題が増加していて、読解力の低さから多くの科目で点数を落としている（学校）
- ・教員の負担軽減には部活動の地域移行が必要だが、どのように行っていくのか、見えてこない（委員）

【その他】

- ・異学年が関わる縦割りとしての効果やコミュニケーション能力を学ぶ場として集団登校を再開してはどうか（委員）
- ・スマホの使い方等、家庭のルールの大さを保護者に伝える効果的な方法を模索している（学校）
- ・一部の学校で不登校児が多い傾向にある
- ・改築工事により、運動場が使えず、運動不足等になる児童がいる（学校）

【学校協議会とPTAの関わりについて】

【学校協議会の運営方法】

【PTAと地域の関わり】

- ・通学路のバス道路で事故が発生しており、ハード面での対策を早急に進めてほしい。下校時、PTAで見守り活動を行っているが、仕事等の都合により各家庭の協力が得られにくい。
- ・上記見守り活動だけでなく、PTA委員会活動も徐々に各家庭の協力を得ることが難しくなっている。他の学校の状況はいかが？PTAのあり方を見直す時期になっているのでは。
- ・学校選択制により地域の子が他地域に登校しているのを見るが、見守り隊が活動されている所までは1人で歩いている。防犯上心配な所がある。

【新型コロナウイルス】

- ・コロナで縮小した学校行事の再開状況が学校によってばらつきが大きい。作品展示、音楽会、マラソン大会など、再開できそうなものも生徒の安全を盾に中止されていると感じる

【学力・学習環境】

【教員の採用・働き方】

- ・コロナ以後、学校の取組等地域にいる者にとって何をしているか分からないが、時折保護者から担任が長期欠席しており学校からなんの話も聞かない、不登校児も問題だが一年を通し担任が長期に渡り欠席も問題があると思う。

【ICT推進】

- ・子供に貸与しているPCが全く活用されていない。学級閉鎖時、授業は難しくてもHRで顔合わせて健康確認などできることはたくさんあるのではないか。何のために導入しているのか不明。

【その他】

- ・小中連携の件で各会長さんにお尋ねしたいことはあります